

保護者の皆様

## 他人の靴を履く

カブ隊長 山本清珠

イギリスには「他人の靴を履く」ということわざがあり、これは「相手の立場で物事を考える・捉える」という意味で使われます。

イギリスではシティズンシップ教育というものがあり、宗教や性の問題、人種間の人間関係や貧困問題など社会に存在する様々な問題をみんなで議論しあったり、また子供たちが実際に地域活動に参加し体感することで各人のアイデンティティの多様化を計ったりしています。シティズンシップとは国籍や市民権という言葉に参加的な市民という言葉が加わったようで、その教育内容は「社会的、道徳的責任」「コミュニティへの関与」「政治的リテラシー」その他アイデンティティと多様性が加わっています。この教育は社会の中で円滑な人間関係を維持するのに必要な能力を身につけることを目的としています。

Sympathy(シンパシー)は感情的状態を言うのに対しEmpathy(エンパシー)は「共感」とか「感情移入」と訳しますが、他者を想像する”能力”や”スキル”のことを指すこともあります。自分と違う理念や信念を持つ人に対してどうしてこう思ったのだろうと”想像する能力”の事で知的作業とも言えるでしょう。

11月の隊集会では「自分の思う自分」「他者の思う自分」「自分の思う他者」を考えるきっかけになったのではないかと思います。これからスカウトの皆にはいつでも「他人の靴」を履けるような人に育ってほしいと思います。

## つきのわスカウト

くまスカウトは1月になると、「月の輪」にも参加します。くまスカウトだけの組(月の輪組)を作り、月の輪リーダーというリーダーのもとでボーイスカウトの初級課目を勉強します。勉強の期間は3か月で、4月には、ボーイスカウト隊に上進して、ちかいをたて、初級スカウトとなり初級章をもらいます。月の輪を勉強するカブスカウトを「月の輪スカウト」と呼びます。月の輪スカウトはカブスカウトの集会とは別に、月の輪チーフリングと月の輪章を着用し、月の輪組を活動の単位として、「月の輪集会」の中でボーイスカウトの班活動に近い形の活動を体験します。「つきのわ」の狙いとしては「ボーイスカウトへの橋渡し」や上進後の「仲間作り」であり、ボーイスカウト隊の活動に慣れるという意味合いもあります。つきのわスカウトになったら「より高度なことを限定の仲間だけで」という特別感を楽しんでほしいと思います。



# 12月 今月のテーマ『なかまとともに』

今月のさだめ:おさないものをいただきます

## 今月の歌



星方位(P71)  
トンチあそび(P78)  
となりのトトロ(プリント)

## 今月のロープ

うさぎ:一重つき巻き結び  
しか:ちぢめ結び、ねじ結び  
くま:テグス結び、もやい結び(柱)

月/日	しゅうかいの形	じかん	ばしょ	ないよう
/	くみ集会		くみのデン	なにをやるのかな?
/	くみ集会		くみのデン	なにをやるのかな?
12/25(日)	たい集会		野宮場	団のクリスマス会に参加するぞ

## カブのみんなへ

こんにちは!、大法師(ちゅだいほうし)の隊長です!  
最近とても寒くなってきましたね。皆さんは風邪(かぜ)などひいていませんか?

12月は毎年行われている団のクリスマス会に参加します!  
団のみんなが集まるクリスマス会はどんなものが待っているのか、とても楽しみです。クリスマスプレゼントや組の出し物をしっかりと組集会で準備してクリスマス会を待っていてください!

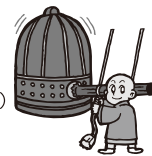


## リーダーのうごき

- 11月記録
- 11月7日 団会議(アネッサ)
  - 11月13日 ラウンドテーブル(やまへの郷)
  - 11月13日 リーダー集会(姉崎公民館)
  - 11月14日 楽しいスカウト活動勉強会(Web)
  - 11月14日 自然体験遊び実行委員会(アネッサ)



- 12月予定
- 12月4日 自然体験遊び実行委員会(Web)
  - 12月5日 団会議(アネッサ)
  - 12月11日 ラウンドテーブル(市原青少年会館)
  - 12月11日 リーダー集会(姉崎公民館)
  - 12月11日 自然体験遊び実行委員会(Web)



## 進歩のきろく

カブブックやチャレンジ章を家の人と進めましょう。  
隊集会でサインがもらえるところがあるよ。デンリーダーにかくにんしてもらって、できるところから早くやりましょう。